

フランス 職場の男女平等 政府主導も道半ば 罰金も



3月5日（金）、フランスにおける職場の男女平等推進の為、社員1000人以上の企業に《男女平等指数》が導入されてから1年が経ちましたが、フランス労働大臣（Ministre du Travail）ミュリエル・ペニコ（Muriel Pénicaud）は指数の低い企業名を公表し不服を表明しています。

大企業19社に改善なし、2年後には罰金も

フランスの巨大財閥の一つで全世界の従業員数36000人、連結売り上げが27億ユーロ（約3240億

円：1ユーロ＝約120円）のドゥリシュシュブール社（Derichebourg）（ごみ収集リサイクル、放射性廃棄物処理他）、スポーツ用品専門大手チェーンのゴースポール社（Go Sport）など19社は《男女平等指数》が100点満点中75点以下で、「1年前から改善されていない」とペニコ大臣は名指しで批判しています。

大臣はまた、これらの企業には「職場における男女平等法の遵守について、近々労働省から直接指導」が入り、さらに2年以内に改善されない場合は「改善されるまで、1年間の給与総額の1%を毎年罰金として課す」と発表しました。

今年3月より社員50人以上の企業にも導入

昨年3月に社員1000人以上の大企業にのみ導入された《男女平等指数》は、昨年9月には社員250人以上の企業に拡大され、今年の3月1日より社員50人以上の企業にも導入されています。

指数は100点満点で、下記の5項目で算出されます：

- 男女給与格差 40点
- 男女昇給格差 20点
- 男女昇進格差 15点
- 産休復帰社員の昇給 15点
- 社内で最も給与が高い社員における女性の割合 10点

フランス大企業上位1200社の《男女平等指数》を公表、ほぼ満点は55社

本日、《男女平等指数》導入企業1200社の数字が公表されますが、そのうち100点もしくは99点を獲得した企業は55社で、昨年導入時の36社から大幅に進歩しています。

また、通信のオランジュ社（Orange）、保険のマイフ社（Maif）、化粧品販売大手のノシベ社（Nocibé）フランスの宝くじ協会フランセーズ・デ・ジュ（Française des jeux）は大きな改善が見られていると、ペニコ大臣は評価しています。

ちなみに1年前の平均値は83点でしたが、今回87点に上昇しています。

フランスの男女給与格差25% 《同一労働、同一賃金》も未達成

フランスの働く女性の給与は平均して男性より25%低いのが現状です。言い換えると、女性のほうが低賃金の職業に多く従事していることになります。

しかしながら、これを「同じ職務かつ同年齢」の場合で比較しても男女間には9%の給与差があります。

1972年に男女平等法が導入されてから実に50年近く経った今でも、「同一労働、同一賃金」は実現していません。

執筆：マダム・カトウ

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

